



マークの付いた行事は「石狩市 市民生活便利帖(動画版)」でもご紹介しています。 <http://benri.i-eris.tv/>



マークの付いた行事は「えりすいしかりネットテレビ」でもご紹介しています。 <http://www.i-eris.tv/>

2/3(火) 鬼は~そと! 福は~うち!

はまます保育園で節分の豆まきが行われました。開始前に先生から豆まきの説明がされると、いよいよ参加園児13人による鬼退治です。鬼に豆(落花生)を投げつけますが、中には泣き出す園児も。最後は子どもたちが「悪いことをしない良い子になる」ことを約束すると、鬼たちは退散していきました。節分は立春の前日、大寒の最後の日を意味していて、この日が寒さのピークとなるそうです。

Voice

赤い鬼とグリーン鬼がいたの。恐くて泣いちゃったけど、豆をぶつけてやっつけたよ。
(渡邊 善心くん)



2/4(水) 立春の毛嵐けあらし

暦の上では春を告げる立春の早朝、今年一番の冷え込みの中、はまますピリカ・ビーチ(川下海水浴場)の海面に毛嵐が現れました。毛嵐は、冷え込みの厳しい日に海面上に現れる湯気のようなもので、海水温と気温との差が激しいときに見られます。気温が低く、風の穏やかな早朝に起こる自然現象で、この日も太陽が昇るとその姿は消えていきました。

Voice

この日は一面白い霧がかかっていて幻想的な風景でした。朝日が差し込むとその姿は薄らいでいき、いつもの青い海に戻っていました。めったに見られないということで見られた私はラッキーの一言です。(浜益区地域おこし協力隊 瀧 祝子さん)



2/4(水) みんなで手話! ボランティア連絡協議会

市が実施する手話の出前講座も77回目を迎えました。今回はりんくるの喫茶コーナーでおなじみのボランティア連絡協議会の会員33人が受講。参加者は、講師の杉本洋子さんからあいさつや基本単語を学んだ後、喫茶コーナーで想定される手話についてもいろいろ練習しました。初めてという方も多く、指文字で苦戦する姿もありましたが、それでも学習が終わるころには皆、簡単な手話ができるようになっていました。

Voice

喫茶コーナーに時々耳の不自由な方がみえるので全員で参加しました。指文字で金額を伝えるのが難しく感じましたが、メニューを表すのは落語のしぐさが参考になり、手話と身振りで交流を图れればと思います。(ボランティア連絡協議会会長 松原 愛子さん)



「まちの話題」が4月号からリニューアル!

4月号からは従来のイベントリポートに加え、「健康」をテーマにした新たなコーナーがスタートします。その名も「石狩市民 健康のアイデア」。健やかな毎日を送るために活動している市内の団体にスポットをあてながら、そこで聞いてきた健康にまつわるアイデアも併せてご紹介します。

なお、このページでは「うちの団体にも取材に来て!」というラブコールをお待ちしています。ふるってご応募ください!

応募条件 ●市内で活動している団体
●政治、宗教、営利活動を目的としている活動は不可

問合せ 秘書広報課 ☎72・3145 (FAX)74・5581

✉ hisiyokoho@city.ishikari.hokkaido.jp

🌐 <http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/soshiki/hisyokoho/1925.html>





まちの主な出来事を写真で振り返ります。

まちの話題



12/14(日) あいぽーとでライブ!

こども未来館あいぽーとでは、スタジオ利用者が定期的に演奏する機会があります。昨年末に行われた「クリスマスライブ」もその一つで、8組の中高生バンドが日ごろの練習の成果を披露。ライブを通してほかの学校や学年の異なる生徒と音楽を共有できたことも大きな収穫になったようです。「クリスマスライブ」に続いて2/22(日)には「卒業ライブ」も行われ、こちらも熱い演奏に盛り上がっていました。

Voice

初めて代表として「クリスマスライブ」を行い不安もありましたが、みんなで楽しいライブにすることができ、とても良かったです。「卒業ライブ」では、お世話になった先輩たちに恩返しと感謝の気持ちを込めながら、音楽を通してお祝いできて良かったです。(山端 大地さん)



1/22(木) 望来小学校で雪像作り

望来小学校の児童とPTAの皆さんが、校庭で雪像作りを行いました。当日はうす曇りの中、先生のアドバイスを受けながら「いちご」「エッフェル塔」「ピカチュウ」に挑戦。ソリで雪を運びながらシャベルやスコップで器用に形を整え、水を加えシャーベット状にした雪で固めるなど、それぞれが工夫を凝らしながら仕上げていきました。学年も関係なく皆で作った雪像に子どもたちも大満足の様子で、「みんなで楽しくできて良かった!」。

Voice

6年間の中で1番いい作品ができました。ピカチュウの顔の形が特にうまくできました!(望来小学校6年生 渡部 りくさん)



1/23(金) 登山家の栗城氏を招いて

登山家くりきのぶかずの栗城史多さんによる講演会が緑苑台小学校で開かれました。同校のPTAが主催したもので、栗城さんは学生時代に中山峠から小樽まで縦走して自身の限界を克服したこと、エベレストの単独登頂で手の指を9本失うものの、父から「生還すればまた登れる」と励まされ、再びマッキンリー山や南極の山に挑戦してきたエピソードなどを披露。最後は子どもたちに夢を持つこと、保護者には子どもの夢を否定しないで欲しいと伝えていました。

Voice

登山を通して日常生活や勉強に対しても、諦めずにチャレンジする心が伝わって来ました(写真左:清水 詩織さん)。一人でエベレストに登るなんてすごい! これからは苦しい時でも諦めずにがんばりたいです。(写真右:清水 咲良さん)



1/24(土)・31(土) 連続講座 石狩大学博物館

石狩の自然や歴史について、いしかり砂丘の風資料館の学芸員たちが最新の研究成果を紹介する講座「石狩大学博物館」。2週にわたり4科目の講座が市民図書館で開催されました。黄金山など石狩の自然遺産がどうやってできたかや、石狩紅葉山49号遺跡で行われていた縄文時代の河川漁の様子などの解説に、受講者は熱心に耳を傾けていました。講義の最後にはたくさんの質問も飛び交いました。

Voice

自然や歴史の4分野の話を一度に聴くことができ、普段、学芸員がどんなことをやっているのかがよく理解できました。古文書など普通の人には読むこともできない世界に触れることができ大変にスリリングでした!(安田 秀司さん)

